

公共交通機関を利用しましょう

公共交通機関利用促進

いま、乗ろう!



Q. 公共交通機関に乗るのは誰のため?
A. 「自分」のため。

「運転免許を返納したら乗るから...」「いつか乗るから...」いざ必要時にはなくなっているかもしれせん。クルマでの移動は便利ですが、必ずしもクルマでなければいけません。いま公共交通機関を利用することは、いつか必要になる自分のため。公共交通を未来に残すため、使ってみませんか?

SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT

伊賀市 企画課 交通政策課
TEL: 0595-22-9663
FAX: 0595-22-9694

市では、10～12月を「公共交通機関利用促進期間」とし、公共交通機関の利用を呼び掛けています。「いま、乗ろう!」「公共交通機関に乗るのは誰のため?」をテーマに、その必要性や今後を考える機会にさせていただければと思います。

これに合わせ、伊賀鉄道市部駅・丸山駅・比土駅のパーク&ライド駐車場に加え、利用促進期間中は市営佐那具駅駐車場も無料でご利用いただけます。

また伊賀鉄道では、12月の4日と19日を「四十九駅の日」とし、この2日間は無印良品イオンタウン伊賀上野と市役所で配布する「利用券」を使うと、当日ご乗車1回限り四十九駅から片道無料でご利用いただけます。

公共交通機関の利用は公共交通の維持存続に加え、CO2削減や健康増進にも大きな効果があります。公共交通を未来に残すため、使ってみませんか?いま利用することが「いつか必要になる自分のため」につながります。

【問い合わせ】 交通政策課
☎ 22-9663 FAX 22-9694



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

お茶のまち甲賀市で「御煎印」を集めよう!!

滋賀県産の約9割を生産するお茶のまち甲賀市で、御朱印めぐりならぬ「御煎印めぐり」が始まりました。御煎印は購入時にお茶ペーストで購入日を入れるため、お茶のほのかな香りも楽しめます。そして、市内6カ所のお茶屋の御煎印をすべて集めると信楽焼の湯呑みをプレゼントします。

ぜひこの機会に、楽しみながら甲賀市の自慢のお茶をご堪能ください。

【料金】 500円（御煎印と一煎茶のセット）

【とき】 5月31日金まで

【問い合わせ】

土山ハイウェイサービス㈱
☎ 0748-66-1660

対象店舗など詳しくはこちら▶



亀山市

亀山市歴史博物館 第41回企画展 「きらめく亀山刀剣類」

亀山市内には、伊勢亀山藩の武士が使っていたとみられる刀など多くの刀剣類が伝わっています。また、刀装具の一つである鐺には、珍しい装飾技法を用いた「亀山鐺」があります。亀山ゆかりの刀剣類や刀装具とその歴史をご覧いただける機会です。ぜひご覧ください。

【とき】 12月10日(日)まで

【ところ】 亀山市歴史博物館企画展示室
(亀山市若山町7-30)

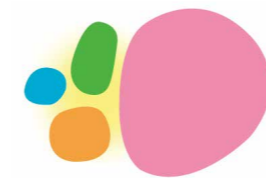
【開館時間】 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで) ※毎週火曜日休館

【展示観覧料】 無料 ※常設展示室は観覧料が必要

【アクセス】 JR亀山駅から徒歩約20分、
名阪国道「亀山IC」から車で約10分

【問い合わせ】 亀山市歴史博物館

☎ 0595-83-3000



伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀城和

伊賀市

笠置町

南山城村

山添村

【問い合わせ】 総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



共生ビジョン懇談会

8月21日(月)、ゆめテクノ伊賀で「令和5年度第1回伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催しました。伊賀・山城南・東大和定住自立圏では、「共生ビジョン」に基づき事業に取り組んでおり、共生ビジョン懇談会を4市町村の関係者の意見を幅広く聴く場としています。

会議では昨年度の主な取組状況や今後の取り組みについて協議しました。

◆昨年度の主な取組状況

○関西SDGsプラットフォームへの入会

本圏域の取り組みを関西方面に向け発信すること、SDGs推進を通して多様な主体との連携・関係づくりを進めることをめざし、「関西SDGsプラットフォーム」に入会しました。

○企業版伊賀市ふるさと納税の寄附募集

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みを活用し、寄附募集事業

として定住自立圏で取り組む事業を選定しました。

○高校進学エリアの拡大

令和5年3月に笠置町、南山城村を所管する相楽東部広域連合教育委員会と三重県教育委員会が覚書を締結しました。これにより定住自立圏内での高校進学エリアが拡大することとなりました。

◆今後の取り組み

○関西SDGsプラットフォームの活用

○定住自立圏ロゴマークの更なる活用と定住自立圏の後援事業の推進



推進協議会

9月26日(火)、伊賀市役所で「第7回伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会」を開催しました。伊賀市長をはじめ、笠置町長、南山城村長、山添村長らが出席し、昨年度の主な取り組みについて協議したほか、圏域内でのさらなる連携に向けての今後の課題などについて意見交換が行われました。



伊賀市長



笠置町長



南山城村長



山添村長